

# 年頭あいさつ

## 保険者の共同体として

## その責務を全力で果たす



青森県国民健康保険団体連合会

理事長 高 樋

憲 (黒石市長)

二〇二五年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

国民健康保険制度は、国民皆保険を支える重要な基盤として、地域住民の医療の確保や健康の保持増進に大きく貢献してきたところですが、近年は、団塊世代の後期高齢者医療制度への移行や被用者保険の適用拡大の影響もあつて、加入者数の減少が著しく、その運営は益々厳しさを増しております。

本会といたしましては、制度の更なる安定運営を目指し、主たる業務であります医療費や介護給付費の審査支払業務の円滑な運営はもとより、各種共同電算処理システムの運用をはじめ、健康づくり事業、医療費適正化対策事業や介護予防への取組に対する保険者インセンティブ制度の評価指標達成に向けた支援に努めるとともに、特に、コロナ禍以降低迷している特定健診等実施率の向上に向け、未受診者対策に力を入れていく方針としております。

また、医療分野におけるデジタル化「医療DX」の要であるオンライン資格確認等システムの円滑な運用に引き続き協力するとともに、「市町村等国保事務の標準化」及び「保険料水準の完全統一」に向けた取組を支援して参る所存でありますので、本年も皆様方の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

